

2025

8・9 月号

vol.298

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

Communication & Voluntary

特集

「助け合い・支え合い・つなぐ未来」

地域や社会、被災地に
還元できるような防災学習を

やわらかコネクト

- 4 ボランティア活動振興基金交付団体へ突撃取材
路上からの再出発。“家がない”の背景に向き合う
アウトリーチよどがわ
- 5 おいでよ！地域のこどもたち
看板犬がお出迎え
こども食堂福太んち



能登半島支援の様子 右下の写真は、『やわらかコネクト』代表の奥田さん(右)と副代表の永松さん(左)



地域や社会、被災地に 還元できるような防災学習を

やわらかコネクト

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から30年が経過するなか、災害に備える活動に取り組んでいる『やわらかコネクト』。『やわらかコネクト』は、2024年能登半島地震発生後の支援(以下、能登半島支援)にも積極的に参加しながら、災害時のトイレ問題に着目し、課題の把握や解決に向けた検討を重ねています。また、防災意識の向上及び啓発を目的に、こどもや地域住民を対象とした防災教育・講習などに取り組んでいる姿を今号ではご紹介します。

共通した課題意識から 団体の立ち上げへ

『やわらかコネクト』の代表を務める奥田さおりさん(以下、奥田さん)は「NPO法人 災害危機管理システムearth」の大阪支部長として、被災地への支援や、城東区を中心に防災・災害に関する講習に取り組んでいます。また、副代表の永松なつめさん(以下、永松さん)は、「NPO法人 輪母ネットワーク」の

代表として、生野区を中心に「障害のある人、配慮が必要な人と家族のための防災ワークブック」を用いて、防災に関する啓発活動に取り組んでいます。

「大阪男女いきいき財団が主催の『地域防災女性ファシリテーター養成講座』の修了生の有志で能登半島支援に行く機会がありました。その際、現地の方と交流する時間があり、発災後の避難所運営でトイレ担当をしていた方から衝撃的な経験談を聞くことができました。そこで、災害時のトイレ問題についてより強く取り組もうと話が上がり、団体を立ち上げてプロジェクトを始めることになりました」と、奥田さんは「やはり「コネクト」としての活動が始まった経緯について教えてくださいました。

それぞれ活動する区も所属する団体も異なるなかで、一緒に活動することとなった背景について、「互いに所属する



輪母ネットワークで作成された、「防災ワークブック」

団体があつて自由に動くこともできる立場にあるため、単独でやるうと思えばできたはず。その状況下でなぜチームを組んだのかというところ、現地で一緒に話を聴き、同じ課題意識や思いでつながることができたから」と、永松さんは話してくれました。それぞれの団体の強みを持ち寄り、防災という共通項から活動を広げること、お互いの活動がより発展するなど、団体、活動者にとつての良循環が生み出されています。

変わらない災害時のトイレ問題

ひとたび大規模な災害が起こると、日頃の快適なトイレ環境は一転し、断水などの理由でトイレが使用できなくなる状況に襲われます。1995年の阪神・淡路大震災以来、さまざまな対策を講じられてきたにもかかわらず、東日本大震災（2011年）や熊本地震（2016年）、その他多数の震災を経験しても課題の改善には至っていません。

避難所でトイレ担当をしていた方から聞いた、「汚物を処理する道具がなく、たまたま調理室に落ちていたお玉ですくって片付け続けた」という話や、「設置している使用禁止のバリケードを突破して排泄をする人がいた」などの経験談は、自分たちの想像をはるかに上

回る内容だったと、奥田さんと永松さんは口を揃えて話してくれました。

「災害時のトイレ問題に衝撃を受け、災害用トイレの使い方を一人でも多くの人が学ぶ必要があると思ったのと同時に、正しく使うことができない人が存在することも知ってもらうことが必要だと思っています。自身も障がい課題に向き合う会として、障がい児者防災に取り組んでいるが想像が足りていなかった。心理的な影響や障がい、高齢などさまざまな要因で、決められた場所や方法で排泄ができないため、責めるのも違うと思う」と、永松さん。

災害時の避難所運営には多くの人が関わるため、年齢や性別問わず、防災に関心がある人にもない人にも知ってもらうことが大切だと考えられています。排泄はすべての人に関わるため、実態を伝えたくうえで、我が事として捉え、一緒に考えていけるような活動が求められます。

持ち帰って考えてもらうよりリアルな体験・講演を

これまで小中学校での防災学習や、地域住民向けの講座で講師を務めてきた奥田さんと永松さんですが、被災地に足を運んだのは能登半島支援が初め

てでした。被災地に足を運び、現地の状況や実体験を見聞きしたことが、講義の内容にも反映できるようになったと話してくれました。主に城東区で講師を務める奥田さんは、「ある地域は、新型コロナウイルス感染症の影響で防災訓練を中断していたため、現在再開に向けて訓練内容の見直しをおこなっています。現地に行くことができたので、被災時の様子を具体的に伝えながら、講義を受けて災害時に何が必要になるのかを考えてもらえるような、リアルな内容で組み立てていきたいと思っています」と、話します。

「被災地の話には、しんどく厳しい話をしないといけない場面や、過去に被災した時の経験をふまえて今後の防災を考えましよう」と話すことも多くあり



被災地の様子（2024年7月撮影）



大阪男女いきいき財団 能登ボランティアチーム第4隊

定することなく、被災者の想いに敬意をもちながら、被災した経験をこれからに活かしてもらえよう、『やわらかコネクト』は新たな内容の講演など、啓発活動に取り組んでいます。

目指す未来像

「簡易トイレを全員が使えるように、使い方については義務教育でやっておくべき。」これは、能登半島で出会った避難所運営に関わった方々がそろって口にした言葉です。この言葉を受けて、使い方を知らないことで起こりうる事象をリアルに伝えるとともに、必要な物品や内容を知ってもらう必要があると考え、『やわらかコネクト』は、2つの制作物の作成に向けて動いています。

1つが、災害時の避難所に設置するトイレケア運用セットの制作です。取材中、奥田さんが見せてくれたのは、介護用のガウンとビニール手袋、給食用帽子に、マスク、メガネなど百円均一で購入できる日用品の数々。非常用トイレセットの備蓄はされていても、トイレがあふれた時の処理や衛生管理をするための道具は配備されていません。そこで、能登半島地

震での経験談をもとに、トイレケアで使った物品をまとめた運用セットを制作し、体験学習にも用いることを検討しています。

2つ目は、こどもから大人まで対象年齢を問わず提供できる教育プログラムの制作です。プログラムを制作するにあたって、再度、能登半島でお話を聞いた方へのヒアリングをオンラインで行いました。また、この夏にはファシリテーター講座の仲間たちと再び能登に行きます。オンラインや現地で聞き取った内容をともに、年内にまとめ作業をおこなう、完成したプログラムを実際に実施しながら、内容のブラッシュアップをしていきたいと思っています」と、永松さん。

想像だけではなく、現実の話から制



地域や学校に出向き、防災の講演活動に取り組む



トイレケア運用セット制作のために、集められた物品

作り、体験してもらおうプログラムを作っていくことが『やわらかコネクト』の大きな目標になっています。目指しているプログラム像は、実施をした時に参加者が「分かった気になって終わる」ではなく、自分たちで考えてもらえる余裕をもたせ、ゆくゆくは講師が出向かなくても、地域や学校が独自で体験できるようにプログラムです。私たちの日常には欠かせないトイレが、災害時どのような状況になるのか。何を備えておくべきなのか。災害時の実態を具体的に伝えながら、トイレ問題を入口に、地域の防災や普段の備えについて我が事として考えてもらえるよう、『やわらかコネクト』は活動を続けていきます。

やわらかコネクト

TEL: 090-8532-5414 (奥田)
080-4010-5573 (永松)
Eメール yawarakaconnect@gmail.com

令和7年度

大阪市ボランティア活動振興基金 交付式・交流会開催報告

6月2日(月)大阪国際交流センター

において、『令和7年度大阪市ボランティア活動振興基金交付式・交流会』を開催しました。今年度は、「福祉ボランティア活動」「学生・若者が取り組むボランティア活動」の2つの助成テーマで、139の活動団体が助成を受けることになりました。当日は、決定証書授与後に各助成テーマから1団体ずつ活動発表が行われました。

福祉ボランティア活動助成の『特定非営利活動法人わびしの会』は、夢をか



活発な意見交換で得た情報を、活動のエネルギーに

なえる支援活動として住民・自治会・企業とのつながりについて発表しました。企業へ出向いて説明をしながら一緒にできることを模索する歩みや、自治会との信頼関係の構築など、他団体から協力を得る手法について共有しました。

学生・若者が取り組むボランティア活動助成の「特定非営利活動法人 Deep People」は、外国にルーツのある子どもが抱える学習面の課題に対して、放課後の母語学習をハイブリッドで行い、留学生がサポーターとして支援するという実証実験について発表しました。

その後の交流会では、同じ区の団体同士で活動紹介が行われました。交流を通して、新たに他団体や各区社会福祉協議会とつながる光景も見受けられ、今後の活動に期待が膨らむ交付式となりました。

大阪市ボランティア・市民活動センター
TEL:06-6765-4041 FAX:06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp
https://ocvac.osaka-sishakyo.jp

※令和7年度大阪市ボランティア活動振興基金 福祉ボランティア活動交付団体へ突撃取材

路上からの再出発。家がいないの背景に向き合う

※福祉課題の解決に取り組む継続的な活動の実施を目的とした事業の支援

アウトリーチよどがわ

淀川区・東淀川区を拠点に、ホームレス状態にある人々への支援を行う『アウトリーチよどがわ』代表の樋口由美子さん(以下、樋口さん)が活動を始めた

はなかったのではないかと思います、自分ができることを考え2023年に団体を立ち上げました」と、樋口さん。

きっかけは、路上生活をしてきた男性との出会いでした。「好きでこの生活をしているのだからそっとしておこうと最初は思っていました。でも、真冬に毛布一枚で横たわる彼の姿を見て、「好きでこうしているのではない」と感じ、食べ物やカイロを渡すようになりました。しかし、彼は飲酒運転によるひき逃げ事故で、ある日突然命を落としました。家があれば、寝ている間に命を落とすこと

「アウトリーチよどがわ」では、ホームレス状態にある方に対する定期的な巡回活動で、食料や寝袋を届けながら対話を重ね、希望する人には生活保護の申請や住居探しをサポートする活動に取り組んでいます。身分証がない人、関係性のトラブルで路上生活を望むなど、路上生活に至った一人ひとりの背景に目を向けながら、信頼関係を築く努力を続けています。



昼回り活動の様子

「もつ以前の生活には戻らない。家を持つことができてよかった。」入居を果たした人の前向きな一言が、活動を続ける原動力だと、樋口さんは微笑みながらもまつすぐな目で話してくれました。

アウトリーチよどがわ
Eメール outreachyodogawa@gmail.com
Instagram outreachyodogawa

記事作成：菅我部 果穂 実習生

おいでよ！地域の子どもたち

子ども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる「子ども居場所づくり」の取り組みをご紹介します。

看板犬がお出迎え

「子ども食堂福太んち」(福島区)



吉野さんを見上げる看板犬の福太んち

福島区の玉川駅から少し歩くと、住宅街の中にワンちゃんのイラストが描かれている看板が見えてきました。建物の前では、色とりどりの野菜が格安で売られていきます。「子ども食堂福太んち」(以下、「福太んち」)は、2021年4月に活動をスタートし、1年後には「一般社団法人ラタラポ」として新たなスタートを切りました。「さまざまな方から協力を得やすく、活動の幅を広げるには一番この形が良い

と思ったからです」と、話すのは、代表の吉野有紀さん(以下、吉野さん)。実は建物の前で売っていた野菜は、味には何も問題がないのに、中央卸売市場で売り物にならなかったB級品を譲り受けたもの。この仕組みでフードロスを減らすとともに、売り上げは「福太んち」の活動費に姿を変えます。

普段は、少林寺拳法の道場の先生をしている吉野さんですが、「コロナ禍がきっかけで、人とのつながりの大切さを再確認しました。そこで、習い事としてだけではなく、地域の子どもたちが安心して人と会える場所を作りたいとの思いから活動を開始。「飼っている犬が福太んちなので子どもたちが、福太んちに行つてくるわー」と友達のお家に行くような気軽な感じで来てほしいと思い、この名前にししました」と、吉野さん。

毎週火曜日の食堂では、会食形式とお弁当配付の2パターンを用



寄附でいただいたお魚をふんだんに使ったメニュー

意。メニューのこだわりは、野菜をたくさん使うことと、給食献立の食材や味付けと被らせないことです。毎回9升のお米を炊くほどたくさん用意しますが、それでも申

込開始と同時に予約が殺到するほど、地域の子どもたちやママから大人気。準備から大忙しですが、少林寺拳法の道場に通う子ども

保護者が中心となり、「福太んち」の活動を支えます。

吉野さんは、食事以外にも体験の機会を大切にしています。今年度は、京都での田植え体験や地域のコミュニティセンターを借りて、福太祭りを開催。福太祭りでは、子どもたちが八百屋さんになり、野菜を販売しました。吉野さんは「これから子どもたちにもっといろんな体験や経験をしてもらいたいと思っています。そのためにも、活動を継続させられるように頑張ります」と、素敵な笑顔で話してくれました。



夢中になって泥だらけ

子ども食堂福太んち

Eメール hanamanzi@yahoo.co.jp

eスポーツで広がる未来の選択 ～楽しさから育つ子どもたちのちから～

eスタジアム株式会社（eスタジアムなんば本店）

公園のように 誰が来てもいい場所

『eスタジアムなんば本店』（以下、『eスタジアム』）は、次世代の人材育成を目的としており、eスポーツだけでなく、Aーやメタバースに関するデジタル技術を体験できる複数のエリアもあり、最新のデジタル技術を通じて新たな発見、学び、体験ができる施設として2024年8月になんばパークスにオープンしました。

「ここは開放的な空間で、まちの公園のような施設をイメージしており、地域の小中学生が入りやすいように、誰でも気軽に來れる商業施設に開設しています」と、話すのは、母体の『南海電鉄（株）』と兼務し『eスタジアム』設立時

から関わっている『eスタジアム（株）地

域共創室』室

長の山本和

幸さん（以下、

山本さん）。

「ゲームは仕

切られた場所

様子を見せてくれました。

「ゲームは仕

切られた場所

様子を見せてくれました。

「ゲームは仕

切られた場所

様子を見せてくれました。

様子を見せてくれました。



ゲーム用パソコンが約20台設置

ちからを引き出し、 将来へのきっかけをつくる

『eスタジアム』は、近隣の教育機関と積極的に連携をとり、課外学習や職場体験の場としても活用されています。また、2024年に開校した^{*}『大阪市立心和中学校』との連携から、義務教育出席認定の対象施設に認定されました。「昨年は試験的に課外学習を3回実施しました。チームワークが求められる体験では、リーダーを決めて他の人の意見をきく、うまくいかなかったら反省会をするなかで、学校に行けなかったり、普段コミュニケーションの少ない生徒が意欲的に参加する姿をみて驚く先生もいました。競技性の高いゲームでは、人口並みの高い技術を持つ生徒もいて驚



eスタジアムで課外授業（心和中学校）

ができてお思います」と、山本さん。自分らしく輝ける場の提供は、第三の居場所として子どもたちの未来につながって

きました。子どもたちが好きなことで能力を活かせる環境があると、本来持っていることものちからを引き出すこと

『eスタジアム』では、eスポーツを活用して食育や防災学習に発展させたり、理想のまちをつくってみるなど、子どもだけでなく、親子で体験しながら興味、関心を広げていくきっかけがつけられています。「子どもが得意なもので社会とつながることができ、心から楽しいと思える場の提供・仕掛けづくりをこれからも続けていきながら、子どもたちが将来の夢を考える入り口になれたら」と、山本さんは目を輝かせて話してくれました。



ゲームをしている様子が見える日本茶カフェ

ゲームをしている様子が見える日本茶カフェ

※不登校を経験した生徒を対象にした「学びの多様化学校（不登校特別校）」として開設し、多様なカリキュラムを通じた教育体制に取り組んでいる。

eスタジアムなんば本店（なんばパークス1階）

<https://e-stadium.jp/>

ボランティア活動に参加するには？



参加のかたちは さまざま

ボランティア活動には、①すでにある団体やグループの活動に参加する②ボランティア登録をして個人で活動する③仲間と団体やグループをつくって活動する、などの方法があります。初めての人には、①での参加がおすすめです。



団体やグループ、 情報を探す

『COMVO』の情報マーケットをチェック!

情報誌『COMVO』では、毎号、活動団体から寄せられたボランティア募集情報を掲載しています。大阪市ボランティア・市民活動センターのホームページでも『COMVO』を見ることができます。
<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

『こてぼら』をチェック!

『こてぼら』は、大阪市ボランティア・市民活動センターから毎月2回(主に第1・3金曜)配信しているメールマガジンです。毎号、活動団体から寄せられたボランティア募集情報を掲載しています。

配信申込は
こちらから



ボランティア・市民活動センターを 訪問して相談する

市・区のボランティア・市民活動センターに直接訪ねて相談してみましょう。また、各区のボランティア・市民活動センターでは、ボランティア登録を行うことができます。

日時によっては担当者が不在の場合もありますので、事前に連絡しておくとう安心です。

電話やメールで問い合わせる

市・区のボランティア・市民活動センターに、電話やメールで相談することもできます。知りたい情報や不安に感じていることなど、何でも気軽に相談してみましょう。



インターネットで情報収集する

以下のホームページでは、ボランティア団体やボランティア募集などの情報を閲覧できます。希望の活動が見つかった場合は、個別のNPO、ボランティア団体等に直接連絡する方法もあります。



[大阪市ボランティア・市民活動センター]

ボランティア団体情報検索

<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/volunteer/search/>

[大阪市民活動総合ポータルサイト(シミボタ)]

登録団体紹介

<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/userlist>

ボランティア情報

<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/recruit/>

[社会福祉法人 大阪ボランティア協会]

ボランティア活動情報検索サイト『KVネット』

<https://www.kvnet.jp>



一言アドバイス

多くの団体では見学を受け入れているので、実際の活動を見てから参加を検討することができます。

また、ボランティア活動を始める前には、活動中のケガや物品の破損など、万が一に備えて『ボランティア活動保険』に入りましょう。

はじめてのボランティア・市民活動



ボランティア(Volunteer)とはラテン語のVoluntas(=自由意志)が語源で、自由な意思に基づいて自発的に行う社会活動のことをいいます。

ボランティア活動は、ほかの人や社会のために取り組むものと捉えられがちですが、活動する人自身にとっても、さまざまなことを得られる魅力が。

例えば活動を通して、感動や喜び、充実感、達成感などを感じる機会が多くあります。また、普段できないような体験や経験をしたり、世代に関係なくさまざまな人たちと出会い、つながりを広げることもできます。

自分が好きなこと、興味のあることなどからチャレンジしてみませんか？



どんなボランティア活動があるの？

こどもや青少年を対象とした活動

- 子育て支援(遊びや一時保育)
- こども食堂などの居場所づくり
- 学習支援やレクリエーション活動支援 など

高齢者・障がい者を対象とした活動

- 食事サービス(会食・配食)や見守り、訪問活動
- 外出支援や文化活動のサポート
- 点訳・音訳・手話・朗読 など

安心・安全なまちづくり

- 防災・防犯・交通安全活動
- 地域のふれあい喫茶やサロン活動
- 地域のごみ拾い、清掃活動 など

自然や環境を守るための活動

- 森林や里山保全、河川や海辺の清掃活動
- 動物愛護活動
- リサイクル活動 など

芸術・文化的な活動

- 図書館や博物館での活動(蔵書管理、館内ガイドなど)
- まち歩きや観光案内・ガイドなど

社会的な課題に取り組む活動

- 路上生活者への支援
- 日本で暮らす外国人への語学・生活支援 など

災害で被災した人を支援する活動

- 被災地での家屋の片づけや困りごとへの対応
- 被災地外での物資仕分けや募金、被災者への生活支援 など

1日から参加できる活動

- スポーツイベントやお祭りなどの運営お手伝い
- ボランティア体験プログラムへの参加 など

その他

- 募金・チャリティー活動やフードドライブ
- 家でできるボランティア活動(収集活動・手芸・寄付)など

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから 団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④ユニセフ・チャリティバザーOCAT2025

大阪ユニセフ協会

<https://www.unicef-osaka.jp>

世界の子どもたちを支援するユニセフ・チャリティバザーで販売のお手伝いをしませんか?楽しいイベントです!

日 程 10/25(土) 11:00~15:00

場 所 難波OCATビル 地下1階 ポンテ広場(浪速区湊町1-4-1)
JR「難波」駅
地下鉄「なんば」駅

人数・条件 高校生以上 定員:10人

申込方法 TEL・FAX・Eメール 締切:10/11(土)

問合せ▶ TEL/06-6645-5123 FAX/06-6645-5124
Eメール un@unicef-osaka.jp



①日本語ボランティア募集

日本語話そう大阪

<https://nihongo-hanaso-osaka.hp.peraichi.com>

日本語学習支援を通して、外国人と交流しませんか。

日 程 毎週土曜日 13:30~16:00

場 所 銀山寺 無礙会館(天王寺区生玉寺町)
地下鉄「谷町九丁目」駅

人数・条件 日本語を丁寧に話せて、協調性のある人を求めます。
定員:若干名
※応募者には説明会を持ち、見学もしていただけます。その結果、決定します。

申込方法 HP 締切 1次:8/31(日) 2次:9/15(月)

問合せ▶ HPからお願いします
※銀山寺への問合せはご遠慮ください



⑤第46回福祉まつり

大阪福祉まつり実行委員会

福祉まつりを一緒に盛り上げましょう。城東区古市周辺にある子どもやお年寄り等の施設が隣接しているところで行うまつりのボランティアを大募集。

日 程 11/2(日) 9:15~15:00

場 所 大阪福祉事業財団共済会館(うるるほうる)周辺(城東区古市1-21-41)
地下鉄「今福鶴見」駅1番出口から徒歩11分
地下鉄「新森古市」駅1番出口から徒歩15分

人数・条件 高校生以上 食事あり(お弁当)

申込方法 TEL・Eメール 締切10/20(月)

問合せ▶ TEL/06-6931-3872
Eメール sumire4@sumire-ai.com



②アジア多文化フェスティバルの運営ボランティア募集

公益社団法人 アジア協会アジア友の会

<https://jafs.or.jp>

アジアの国々の方との交流や自分たちでイベント企画・運営するのが好きな方、ぜひ一緒にアジアの魅力を発信しましょう

日 程 8月~11/22(土)の間で月2回程度開催
各日18:00~19:30

場 所 肥後橋官報(西区江戸堀1-2-14肥後橋官報ビル5階)
地下鉄「肥後橋」駅 1A出口すぐ

人数・条件 高校生以上

申込方法 TEL・Eメール 締切:10/31(金)

問合せ▶ TEL/06-6444-0587
Eメール asia@jafs.or.jp



⑥外国にルーツをもつ子どもたちの居場所作りと学習支援を!

西淀川インターナショナルコミュニティ

<https://nishiyodoic.net>

外国にルーツをもつ小学生の教室「きらきら」で、学校の宿題をみる、世界地図を見ながら話す、カルタをする、易しい日本語を伝える等をご一緒にしませんか。

日 程 毎週月曜日 16:00~17:20
※祝祭日の月曜、年末年始、お盆は休み

場 所 ゆうせいホール(西淀川区出来島1-13-2 ゆうせい薬局2階)
阪神線「出来島」駅から徒歩1分

人数・条件 高校生以上 交通費あり(上限往復1,500円)
定員:2~3人(先着順)

申込方法 Eメール

問合せ▶ TEL/06-6105-3245
Eメール nishiyic@gmail.com



③誰でものれる小さなヨット、アミティヨット教室開催時のボランティア募集

セーラービリティ大阪

<https://www.access-dinghy.com/>

ヨットの準備、乗艇の案内、片付け等です。通常は、土日に体験乗艇会をしていて、その空き時間にはヨットに乗れますよ。詳しくはホームページ参照。

日 程 10/19(日) 9:30~16:00頃

場 所 大阪北港マリーナ(此花区常吉2-13-1)
大阪シティバス
「大阪駅前停留所」59系統から「北港ヨットハーバー」行き乗車 約50分
「西九条停留所」59系統から「北港ヨットハーバー」行き乗車 約25分

人数・条件 高校生以上 昼食持参(近くに売店はありません)

申込方法 電話

問合せ▶ TEL/090-3166-8993(担当:藤本)
※お問合せの際は「ボランティアの件で」とお申し出ください



⑪ デスカフェ*10

特定非営利活動法人 こころの救急箱

http://www.cocorono99baco.or.jp/toppage.html

「死」についての話をしてみたいと思っている方が、飲み物を飲みながら思いを語れる場です。

日 程 9/20(土) 14:00~16:00

場 所 アネックスパル法円坂(中央区法円坂1-1-18)
地下鉄「谷町四丁目」駅10番出口から徒歩10分
地下鉄・JR「森之宮」駅から徒歩10分

人数・条件 どなたでも 定員:8人 参加費:無料

申込方法 FAX・HP (https://forms.gle/kBUVJm9HQFLEGFW6)
締切:9/15(月)

問合せ▶ FAX/06-6942-9092

Eメール cocorono990baco@kpa.biglobe.ne.jp

⑫ 「御堂筋ふれあいバザー」開催のお知らせ

Daigasグループ「小さな灯」運動、大阪ガスネットワーク(株)

https://network.osakagas.co.jp/effort/index.html

障がい者の社会参加を目的に、福祉作業所で作られた授産商品(焼き菓子やパン、雑貨など)を中心に販売します。ぜひご来場ください。

日 程 9/16(火)~9/19(金)
各日11:00~15:00

場 所 大阪ガス 本社ガスビル 御堂筋沿い(中央区平野町4-1-2)
地下鉄「淀屋橋」駅13番出口から南へ徒歩3分

人数・条件 どなたでも

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/06-6205-4545

Eメール tomoshihi@osakagas.co.jp

⑬ トーク&交流会 ごまげんでいられる地域での場づくりのはじめ方 ~いくのパークの事例から~

クレオ大阪中央 女性チャレンジ応援拠点

https://creo-osaka.or.jp/chuou/

生野区の多文化共生拠点「いくのパーク」運営団体代表から、居場所づくりの意義や醍醐味についてお話を伺います。後半には交流会を実施します。

日 程 9/19(金) 19:00~20:30

場 所 クレオ大阪中央(天王寺区上汐5-6-25)
地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅1・2番出口から徒歩約3分

人数・条件 テーマに関心のある女性 定員30人(先着順)
参加費:無料

申込方法 TEL・FAX・HP・来所

問合せ▶ 〒543-0002 天王寺区上汐5-6-25

TEL/06-6770-7200 FAX/06-6770-7705

⑭ 関西いのちの電話 第29回チャリティコンサート 鈴木孝紀トリオwith菅ナミJAZZコンサート

社会福祉法人 関西いのちの電話

https://kaind2.com

クラリネット奏者鈴木孝紀さんの呼びかけで、ジャズや様々なジャンルで活躍する愛川聡(ギター) 荒川哲郎(コントラバス)を迎え、2015年結成。

日 程 9/27(土) 14:00~(13:30開場)

場 所 ドーンセンター ホール(中央区大手前1-3-49)
京阪・地下鉄「天満橋」駅1番出口から東へ350m
JR「大阪城北詰」駅2番出口から550m

人数・条件 どなたでも ※未就学児は無料(親子室をご利用いただけます)
参加費:指定・自由席ともに大人前売券3,500円(当日券4,000円)
学生前売券1,500円(当日券2,000円)

申込方法 電話・FAX・Eメール 締切:先着順

問合せ▶ TEL/06-6795-4860 FAX/06-6795-4861

Eメール jimukyoku@kaindinochi.com

⑦ こども食堂、おとな食堂のボランティアさんを募集します。

KOMUGI食堂

Instagram: komugi_children

食事だけではなく、老若男女を問わない居場所作りをめざしています。子どもやおとなを見守り、コミュニケーションを取れる方を募集しています。

日 程 こども食堂 第2金曜日
おとな食堂 第4金曜日 各日16:00~20:00

場 所 麺屋爽月(住之江区浜浜2-11-3)
南海線「粉浜」駅

人数・条件 どなたでも(調理補助ではありません) 食事あり

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール makirithua19285@gmail.com

⑧ 日本語交流教室ボランティア募集中

繁栄かるがも教室

外国にルーツのある小さな子供達とお母さん、お父さんと一緒に日本語を学習する教室です。最近では留学生や外国人就労者も参加頂いています。

日 程 毎週土曜日 10:00~12:00

場 所 大阪市港区民センター 6階(港区磯路1-7-17)
地下鉄「弁天町」駅から直結
JR「弁天町」駅から徒歩3分
※場所が変更になる場合がありますので事前にお問い合わせください

人数・条件 どなたでも(学生さん活躍中!まずは見学に来てください)

申込方法 申込不要

問合せ▶ Eメール karugamo.group@gmail.com

⑨ 家族会「ひとりよりふたり」

一般社団法人 マノ・ア・マノ

https://mano-a-mano.fun/

おとなのひきこもりでお悩みのご家族様の会

日 程 ①8/31(日) 13:00~15:30
②10/26(日)・③12/14(日) 13:00~16:00

場 所 大阪府立労働センター エル・おおさか(中央区北浜東3-14)
京阪線・地下鉄「天満橋」駅から西へ300m
京阪線・地下鉄「北浜」駅から東へ500m

人数・条件 どなたでも(お悩みのご家族様)
参加費:無料 定員:30人

申込方法 電話・Eメール・HP 締切:各開催日の前日(予約制)

問合せ▶ TEL/090-9458-1402

Eメール oyaji201209@gmail.com

⑩ 敬老の日記念イベント「認知症サポーター養成講座」

学校法人トモ工学園 北大阪福祉専門学校

https://www.kitaosaka1997.com/

認知症は特別な病気ではありません。認知症の基本とその対処法と予防法について学ぶことができます!介護福祉士・認知症ケア専門士の講師がレクチャーします。

日 程 9/13(土) 13:30~15:00

場 所 北大阪福祉専門学校(都島区東野田町4-2-7)
地下鉄・京阪線・JR「京橋」駅から徒歩7分
大阪シティバス「東野田」下車すぐ

人数・条件 どなたでも 定員:30人(先着順) 参加費:無料
修了の証明として「認知症サポーターカード」が授与されます。

申込方法 TEL・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6351-2097 FAX/06-6351-2081

Eメール fukushi@kitaosaka.ac.jp

⑱不登校親の会 開きます

フラワーズ

<https://flowers590.jimdo.com/>

みなさんの周りに、不登校のお子さんの保護者はいませんか？
1人じゃないよ。みんなで話そう。月1回日曜日も開催してます。

日 程 毎月第1・第3月曜日 10:00~12:00

場 所 西成区社会福祉協議会(西成区岸里1-5-20 西成区合同庁舎8階)
地下鉄「岸里」駅直結
地下鉄・南海「天下茶屋」駅から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 参加費:500円

申込方法 TEL・Eメール・HP

問合せ▶ TEL/050-3748-8781

Eメール sm59005@yahoo.co.jp

⑳男のセカンドキャリア塾2025

NPO法人 SKY

<https://esukeiwai.jimdo.com/>

令和7年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金採択事業として、40~70代の男性に対しての孤立・孤独予防を目指したセミナーを開催

日 程 9月~2026年2月の期間 各月2回(主に土曜日)
13:30~15:30 ほか ※詳細はHP参照

場 所 大阪産業創造館(中央区本町1-4-5)ほか
地下鉄「堺筋本町」

人数・条件 40代~70代の男性限定 定員:15人
参加費:無料

申込方法 HP(<https://77yyd.hp.peraichi.com/>) 締切:HP参照

問合せ▶ TEL/050-6864-0608

Eメール esukeiwai.info@gmail.com

㉑意見がでる!話がまとまる!ファシリテーション入門

クレオ大阪南

<https://creo-osaka.or.jp/south/>

職場や地域での活動を円滑に進めるためにはチームワークが大切です。話し合いの進め方や、一人ひとりが話しやすくなる場づくりについて学びます。

日 程 ①9/27(土)、②10/11(土) 全2回 各日 10:00~12:00

場 所 クレオ大阪南(平野区喜連西6-2-33)
地下鉄「喜連瓜破」駅1番出口から徒歩約5分

人数・条件 どなたでも 定員:40人 参加費:無料
※一時保育若干名有り(要申込。締切9/17(水)先着順)
保育料:1歳~3歳未満/800円、3歳~就学前/500円

申込方法 TEL・FAX・HP・来所 締切:9/26(金)

問合せ▶ 〒547-0026 平野区喜連西6-2-33

TEL/06-6705-1100 FAX/06-6705-1140

㉒ひとり親家庭等日常生活支援事業 家庭生活支援員(子育て担当)養成研修会

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

<https://www.hitoren-osaka.org>

ひとり親家庭の方が一時的に保育が必要ときに、自宅や利用者宅等で子どもを預かるなどの支援をしてくださる方を募集しています!

日 程 平日コース 10/3(金)~11/14(金) (全5日間)
土曜コース 10/4(土)~11/15(土) (全5日間)
各日 9:30~17:00

場 所 大阪市立愛光会館(北区中津1-4-10) 地下鉄・阪急線「中津」駅
研修会最終時点で70歳以下の方 定員:各コース30人
(ファミリーサポート提供会員の方は免除科目あり)
参加費:無料(ただし、保育所実習に伴い一部自己負担があります)
※一時保育あり(愛光会館での講義のみ)
対象年齢:1歳~12歳(小学生)までのお子さま

申込方法 FAX・郵送・来館(所定の用紙にて申込み) 締切:9/12(金)

問合せ▶ TEL/06-6371-7146 FAX/06-6371-6722

Eメール haha@v-aid.org

㉓パソコン点訳講習会(初級)受講者募集

生野点訳サークル

点訳を基礎から学び、受講終了後、点訳ボランティアとして一緒に活動していただける方を募集しています。パソコンが苦手な方でも大丈夫です。

日 程 10/4~12/13毎週土曜日 全10回 各日 18:30~20:30
※12/6(土)はお休み

場 所 生野区民センター(生野区勝山北3-13-30)
JR「桃谷」駅から徒歩約15分

人数・条件 高校生以上 定員:10人(先着順)
参加費:1,400円(点訳のてびき(第4版)をお持ちの方は無料)

申込方法 TEL・FAX

問合せ▶ 生野区社会福祉協議会 地域支援担当

TEL/06-6712-3101 FAX/06-6712-3001

㉔ハロウィンwithぼうさい2025キャンドルナイト

特定非営利活動法人 ここから100

<https://cocokara100.com/>

子どもから高齢者までゆっくり防災を学びながらマルシェ・ステージ・子ども食堂を楽しめる一日です。

日 程 10/25(土) 12:00~19:30 ※雨天時は10/26(日)

場 所 十八条中央公園(淀川区十八条2丁目)
地下鉄「東三国」駅から徒歩18分
大阪シティバス「榎木橋」から徒歩1分

人数・条件 どなたでも 定員:10人 参加費:無料

申込方法 TEL・Eメール・HP 締切:10/20(月)

問合せ▶ TEL/090-8538-5253

Eメール vivere778@gmail.com

㉕第23回 読売福祉文化賞

社会福祉法人 読売光と愛の事業団

<https://www.yomiuri-hikari.or.jp/bunkasyou/>

障害者や子どもの福祉を中心に福祉全般を対象とする「一般部門」、高齢者を支援する福祉活動を対象とする「高齢者福祉部門」の2部門において、時代にふさわしい福祉活動に長年取り組んできた団体や個人を募集します。

応募対象 (1)公益性ある創造的な事業で、ハンディを持つ方や地域の人々に元気を与え、ネットワークを広げている。
(2)個人または団体が生き生きとした活動の場を持つ支援を実践している。
(3)福祉の現場において、多様な文化の向上に尽くしている。
(4)明確なテーマを持って、自覚ましい実績をあげており、将来も継続、発展が期待できる。
(5)活動期間はおおむね5年程度が必要。

表彰内容 「一般部門」 :3件(トロフィーと活動支援金各100万円)
「高齢者福祉部門」:3件(トロフィーと活動支援金各100万円)

応募方法 HPから申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ添付書類とともに郵送またはメール送信 ※詳細はHP参照

応募締切 9/15(月)必着

問合せ・提出先▶ 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
社会福祉法人 読売光と愛の事業団「福祉文化賞」係
TEL/03-3217-3473 FAX/03-3217-3474 Eメール hikari-ai@yomiuri.com

㉖がん患者団体助成

公益財団法人 正力厚生会

<https://shourikikouseikai.or.jp/works/kanja/doc.html>

がん患者やがん患者を支援する団体が取り組む優れた事業に助成します。相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、ホームページの開設・改修など、企画運営が対象です。

応募資格 がん患者が、がん患者とその家族を支援するグループなど
※国内で活躍するグループ(医療機関内の患者会等を含む)で法人格の有無は問わない

助成額 1件(1団体)当たり50万円以下

応募方法 ホームページより申請書をダウンロードし、所定の資料を添付してメールまたは郵送

応募締切 10/17(金)必着

問合せ・提出先▶ 公益財団法人 正力厚生会事務局

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル29階
TEL/03-3216-7122 FAX/03-3216-8676

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリアルタイムでお届けします。

ひとり親家庭を訪問型病児保育で支援

認定NPO法人ノーベル

<https://nponobel.jp/donation/>

認定NPO法人ノーベルは、2010年から関西で初めて「共済型・訪問型病児保育」を開始しました。「深夜に子どもが発熱。でも明日は仕事を休めない。頼れる人もいない」。そんな働く親御さんを支えるため、保育スタッフがご自宅にうかがい、病気のお子さんをお預かりします。当日朝8時までの予約には、100%対応しています。

中でも力を入れているのが、ひとり親家庭への支援です。大阪は、ひとり親家庭が全国で2番目に多く、約4割のひとり親が非正規で働いています。子どもの病気で仕事を休むと、その分収入が減り、生活苦に直結するのが深刻な問題となっています。

ノーベルでは2013年から、年収300万円以下の世帯を対象に、ご寄付を原資として、月1万円の会費（月1回分の病児保育料を含む）を月1,000円にして病児保育を提供。これまでに450世帯以上を支えてきました。

訪問型病児保育を提供することで、親御さんからは「こどもの病気を心配せず働ける安心感が、心の支えになり、働き続けられている」「仕事を休まなくなったことで職場から信頼され、昇給した」とのお声をいただいています。

ノーベルは、子育てを社会全体で支える仕組みづくりを進めています。



創業以来、保育満足度は95%超を継続

オリジナルサコッシュをプレゼント!!

いつも情報誌『COMVO』をご愛読いただきありがとうございます。

P.14上段の読者アンケートにご協力いただいた皆さまの中から抽選で毎号3人に、『COMVO』オリジナルサコッシュをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、FAX、EメールまたはQRコードからお送りください(P.14参照)

両面ポケット付き!!
肩がけで便利に使える
小型バッグ

縦220×横170mm



情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌『COMVO』編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618

Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:泉)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例:2025年10月15日発行号(10・11月号)に掲載希望の場合は2025年8月末まで)



おくはくくん

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



避難訓練と心肺蘇生法の講師研修会の様子

ボランティアを始めたきっかけと私の想い

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

それゆけ!
がんばれ!
学生ボランティア活動
連載リレーコラム
No.52

私がボランティアに参加しようと思ったきっかけは、小学生の頃SDGsの教育問題について興味を持ち、いつかその改善・解決に携わり、全体的なこともに教育を届けたいと思ったからです。ここで活動を始める前までは何も行動できていない自分がすごく悔しくて、ボランティア情報のサイトを通じて、この居場所と出会いました。

私が今までに担当したことも現在は、境遇もさまざまでしたが、みんなに貫いているのは笑顔が底抜けないといつことばです。生懸命に学ぼうとする姿もみんなの姿勢に私も少し元気をもらっています。そし

て、ごどもたちと関わる時はいつも、教える前にその子のことをよく観察し、ごどもたちを「知る」姿勢を大事にしています。また、ごども一人ひとりの些細な様子からその子がどういう子なのかを考え、話のきっかけを作るように心がけています。

Unityでは学習支援だけでなく、講師の研修会を実施しており、私は講師に対して避難訓練や心肺蘇生法の研修を担当したりと、日々、色々なことに挑戦をすることができています。挑戦ができるこの居場所はごどもの居場所でもあり、同時に私の居場所にもなっています。

大阪府立咲くやこの花高等学校
植西 咲菜



プロフィール

所属団体: NPO法人Unity 無料学習塾あじあーと
趣味: 自然巡り
学年: 3年生

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただけます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。抽選で毎月3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。

※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌 COMVO 298号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2025(令和7)年9月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



編集後記

連日猛暑が続くこんな時期こそ、水分補給とひと息つく時間を忘れずに。みなさんが元気に夏を過ごせていますように…と願いながら、編集部からお便りをお届けします。

梅雨が明けてから一気に気温が上昇し、セミの鳴き声に夏の始まりを感じるとともに盆踊りの音やこどもたちの元気な声、そして何気ない日常の中にある交流は、夏の疲れをそっと癒してくれます。さまざまな団体が企画する夏の催しや普段の活動一つひとつの場が、人と人のつながりを生み出し、誰かにとっての居場所になっていると感じます。

情報誌COMVOは間もなく300号を迎えます。今後もさまざまな活動に寄り添いながら、団体の思いを伝え続けることで、皆さまの暮らしに彩りを添えることができると嬉しく思います。



ボランティア・市民活動情報誌

「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌 COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載! 市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年6回発行 各40,000部
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	120×170
本文 1ページ	156,000円	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	120×170
本文 1/4ページ	46,500円	60×170

- ※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。
- ※掲載ページの指定はできません。
- ※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

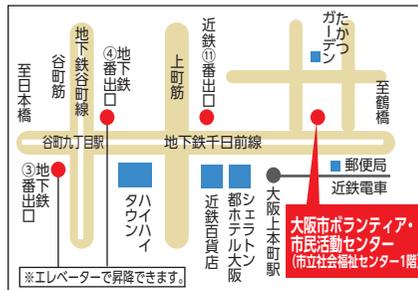
所在地 / 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail ocvac@osaka-sishakyo.jp HP <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間: 午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日: 日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日: 2025年8月15日
- 発行部数: 40,000部 ●制作協力: 商工印刷株式会社 ●点訳協力: NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



「COMVO」主な設置・配布場所

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区社会福祉協議会、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※大阪市ボランティア・市民活動センターでは、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

大阪市社会福祉大会 講演会

タレントの妻・3人の子の母として家族を支えながら、実母と義父母と40年以上同居し、多重介護を経験。女の夢・嫁の立場・母の役割そして妻の責任。

多くの教訓が秘められた経験から、「一人で生きていけない。支えあってこそ素晴らしい人生を送ることができる」と語るヘレンさん。

その生きざまを通して、介護・家族・人とのつながり・ワークライフバランス等をテーマに、ユーモアと感動を交えながらお話いただきます。



日程

令和7年10月17日(金)
14:50 ▶ 16:00

※講演前に式典を開催しますので、講演の開始時間が多少前後する場合があります。

内容

講演

「大家族一支え愛、語り愛、励まし愛」

西川ヘレン氏 (タレント・西川きよし夫人)

場所

大阪国際交流センター 大ホール

大阪市天王寺区上本町8-2-6

- 近鉄線「大阪上本町」駅14番出口から徒歩6分
- 地下鉄「谷町九丁目」駅10番出口から徒歩8分

申込方法

本会ホームページ
申込フォーム

申込み
二次元コード



参加者
募集中!

参加無料

問合せ 大阪市社会福祉協議会 総務部 06-6765-5601

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名称	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休野5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668